



国際ロータリークラブ第2620地区 2023-2024年度

RI会長 ゴードンR. マッキナリー

会長 竹田 浩富 幹事 伊原 謙治

朝霧アリーナより



竹田 浩富 会長

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
 事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
 TEL.0544-23-2122 FAX.0544-23-2122 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.39 通算 1570 号 2024年6月21日(金)

♪Rotary Songs われらの生業

ゲスト・ヴィジター

なし

会長挨拶 会長：竹田 浩富 君

今回の東京都都知事選挙（7/7 投開票）に出馬して話題になっている石丸伸二氏。「恥を知れ！ 恥を」。一作年6月、市議会の議場で居眠りしている議員らに対してこう怒りをあらわにした若き市長の姿が大きな注目を浴びました。人口2万7000人の広島県安芸高田市の市長を務める石丸伸二氏です。石丸氏は、同年6月10日、広島県安芸高田市議会に議員定数を16人から8人に半減させる改正条例案を賛成少数で否決されました。提案理由について、副市長の定数減の理由が財政健全化だったことを挙げ、「議員8人の削減によって人件費は年間約4500万円圧縮できる」と説明。また「居眠りをする、一般質問をしない、説明責任を果たさない。こんな議員はいらないという声を多く聞く」として、半減により競争が生まれ議員の質が高まるとしました。討論では賛成した議員1人が「8人でも補い合って活動すれば、市民の声が届く政治は不可能ではない」と述べたものの、反対した議員からは「やられたらやり返す、というのはあまりにさみしい論理」、「否決ありきの提案で、安芸高田市を実験台に使われるのは迷惑」などの意見が出ました。石丸市長は採決後、報道陣に「子供のけんかという評価はその通りだと思

う。ただなぜそれが起きたかを知ってほしい」と、原因は議会側の姿勢にあると訴えました。さて、この石丸氏が、7月7日に投開票される東京都知事選に出馬します。有力女性候補二人による一騎打ち、という構図が違う形になるのではと注目を集めています。その石丸氏は15日、渋谷区内で演説しました。市長辞職後、都内では初の街頭活動でした。同区のスクランブル交差点近くで、石丸氏は車上から、大勢の聴衆を前に「（日本の人口は）2040年にかけて1千万人以上減る。このまま放置して、日本経済と社会が持つわけない」と主張。「世の中に不満があるなら自分を変えろ」と呼びかける場面もありました。同日は選挙スタッフの説明会もあり、関係者によると、800人以上が参加したといえます。石丸氏は「想定をはるかに上回る応援の熱気をちょうだいした」と話しました。昨日20日告示の東京都知事選が少し面白くなってきました、と思いますが皆さんはいかがでしょう。結果は七夕です。

幹事報告 幹事 伊原 謙治 君

・6月28日(金)18:30より「花月」で年度末最終例会
 一会長・幹事慰労「炉辺会談」を行います。

出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	22	20	18	4	0	90%

欠席者：外木規之君※ 仲亀秀樹君 赤池次郎君※
 近藤憲司君

本日のお祝い

会員誕生日 伊原謙治君 s30.6.23

近藤千佳君 6.30

創業記念日 石川俊洋君 s59.6.21

欠席者：外木規之君※ 中亀秀樹君 赤池次郎君※

近藤憲司君

スマイル

○高齢者自動車運転免許試験にパスしました。妻の誕生日祝いに感謝 …加藤康雄君

○2024-25年度会計予算の編制に取りかかっています …後藤憲治君

○本年度も後二回。みなさんお疲れ様 …若林眞治君

クラブ協議会 本年度を振り返ってII 各委員会

(1)親睦・出席委員会 石田 道彦 君

例会場が花の湯に移動して一年。会場の設営と片付けの仕事が新たに加わりました。退会者が出たことで例会運営上のセクションを一人の担当者が行うことになりました。岡谷エコーロータリークラブとの合同イベント親睦会を企画し、これを実施しました。引き継ぎ事項ですが、会員が少ない中、上手に人を配置してやっていただきたいと思います。*別紙資料 岡谷エコーロータリークラブとの合同イベント会計報告書・同クラブとの交友の歴史の纏め

(2)会報委員会 貫名 英舜 君

34年前に我がロータリーの草創期に私は会報を担当しましたが、何も分からない中で、当時の事務局兼印刷所を運営していた内海さんから、ロータリーの会報はどうでなければならぬか、富士宮 RC はどのように会報を作ってきたかを柱に徹底してたたき込まれました。今回、その当時のことを思い出しつつ、その復刻版バージョンとしての会報を作ってみました次第です。引き継ぎ事項ですが、現在の会報の編集はオンラインで行っています。パソコンを使いこ

なせることが必要条件になっています。その点に留意をして委員スタッフに仕事を依頼してください

(3)会員増強委員会 渡邊 奈津実 君

23名で始まりましたが4名の退会があり、次年度は19名で始まります。この間に1名新会員が加わったことがよかったと思うところです。当主旨のセミナーを開催しました。また、会員増強は地区の重点項目であり、地区開催のセミナーの情報も会員に伝えて来ました。また、研修委員会とコラボして「(未会員にとって)魅力あるクラブ」を創造的にこしらえ治すために何が必要かを討議してもらいました。もちろん、ロータリーの紹介パンフ、会報などを持参して「声かけ」をする努力が必要です。この点を次世代委員会に引き継ぎたいと思います。

(4)研修委員会 石川 俊洋 君

二回のセミナーを開き、テーマを会員増強・維持と当クラブが行うべき奉仕事業についてセッションを開きました。地区の方針の一つは「どうすれば現役の会員がクラブ・ライフに満足し、また、それが基盤となって社会奉仕・地域貢献においていかに地域社会にアピールするか…その結果として新しい会員の参入が促される」というものだったと思います。引き継ぎ事項ですか、地区が推奨する「3年計画目標」を策定して、地区HPに登録することをしてください。

(5)R財団&米山委員会 遠藤 克彦 君

R財団に関してはまずは地区推奨の150ドルの寄付を行い、また、ポリオ・エンド30ドルの寄付を行いました。米谷委員会の業務としては、今年は米山奨学生の受け入れをしていませんので、この米山奨学生という制度は何かという基本を学ぶセミナー(DVD「米山記念奨学会 財団設立50周年」を観る)を開催しました。年次寄付金については予算中より本年度において出費適切と判断した金額を納めました。次年度は、米山委員会としての特別なイベントが計画されているということですので期待します。

(6)SAA&公共イメージ委員会 岡村 吉彦 君

例会場が移動。マイク・アンプ・その他の放送機材を整えつつ、SAA に求められる仕事をやってきました。また、on-line ハイブリット例会を運営することがこの機材では困難であり、現在休止中です。公共イメージについては「B29 が墜ちた」と題する講演、「地方のメディアの役割」と題する地方紙記者の講演などを依頼して行いました。さて、SAA の仕事は例会が和やかな中にも規律あるものとして運営することです。細かいことですが、例会参加時にはバッジ着用をお願いします。

(7)奉仕プロジェクト委員会 大谷 裕也 君

今期の奉仕事業は7回の機会においておこなうことができました。

- 9 / 1 / 社会奉仕 / 土井正孝氏の「講話」
…高齢者支援の現場から
- 10 / 27 / 社会奉仕
ミツバツツジ植栽メンテナンス
- 2 / 2 / 青少年奉仕 市PTA連絡協議会会長講話
話…PTA運動の現在
- 3 / 1 / 会員による「職業奉仕」講話
- 3 / 8 / 青少年奉仕
富士宮サッカー協会会長講話
- 4 / 8 / 社会奉仕 富士宮市長講演
- 4 / 19 / 社会奉仕 ミツバツツジメンテナンス
(春のお花見例会)

(8)職業奉仕/国際奉仕委員会 遠藤 壽男 君

ロータリーでは個々の職業は天より与えられたものであり、使命感を持って従事するものとされています。この認識に立って高い倫理観を持って職業を遂行すること、すなわち、「奉仕」を行うことが求められています。ロータリーの例会は同じ理念を有する仲間として語り合い、質のより高いレベルへの向上を目指すものです。本年度は、岡村君・加藤

君・片岡君・後藤君の四人に自らの職業奉仕について思うところを語ってもらうフォーラムを実施しました。自らの研鑽的職業奉仕が、社会へ向かったところに（地域）社会奉仕があり、世界に開かれていくところに国際奉仕があることとなります。

ロータリーの国際奉仕は他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによつて、国際理解、親善、平和を推進するために会員全員が行う活動から成るものです。具体的には、海外における自然災害への金銭的支援です。今年度は台湾における大地震に対する支援を行いました。また、広義ではロータリー財団が財政的基盤とするエンド・ポリオの事業の世界展開もロータリーの国際奉仕の理念において協働している事業です。

社会奉仕事業に関して、当クラブは「ミツバツツジ3776本構想」と「市P連 読書推奨本配布」の二つの事業を継続的に行っています。また、今年度、能登半島地震において、救援支援金を集めて贈る事業を行ったのも社会奉仕に当たる事業ということになります。また、会員の石川俊洋君が水道インフラの復旧プロジェクトに参加することに対して「応援金」を支出したことも社会奉仕のカテゴリーに当たることであったと思います。

加えて、青少年奉仕事業は「富士宮西ロータリークラブカップ少年サッカー大会」を継続的に行っています。この事業に関しては2620地区より補助金を得ています。

*紙面の都合上要旨のみ